

2024年11月5日

日本ゼオン、第19回高校化学グランドコンテストに特別協賛
—化学への情熱と探求心をもつ高校生・高等専門学校生を応援—

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:豊嶋 哲也 以下、ゼオン)は、昨年に引き続き「[第19回高校化学グランドコンテスト](#)(主催:芝浦工業大学)」に特別協賛しました。同コンテストは、高校生および高等専門学校生(3年生以下)が行っている「学習研究活動」を支援し、高校生自らが自主的な探究活動を楽しみながら科学的な創造力を培い、将来科学分野で活躍できる人材の育成を目的とし、2004年から開催されています。ゼオンは同コンテストの趣旨に賛同して2023年より特別協賛しており、ゼオン独自の視点で選考する「日本ゼオン・チャレンジ賞」は、長野県飯山高等学校に贈られました。

「化学の甲子園」とも称される同コンテストの最終選考会は10月26日~27日にかけて東京都内で開催され、書類による1次審査を通過した90チーム以上302名が参加、ポスター発表89件、口頭発表10件が行われました。

ゼオンは今後も同コンテストへの協賛を通じて、次世代を担う人材育成を支援してまいります。

日本ゼオン・チャレンジ賞

二酸化炭素吸収ボール MBR の開発
(長野県飯山高等学校 自然科学部 MBR 班)



表彰式の様子



飯山高等学校の皆さん(中央)とゼオン関係者

【長野県飯山高等学校の皆さん 受賞コメント】

私たちは、地球温暖化問題を解決したいと考え、光合成を行うミドリムシなどの緑藻類をアルギン酸カルシウムのビーズに閉じ込めた MBR(ミドリパイオリクター)を作りました。研究では、MBR の二酸化炭素吸収能力、培養特性、外部環境への影響について明らかにすることができました。これからは MBR の普及を目指し、さらに研究を重ねていきます。今回、このような賞に選んでいただいたことに、感謝申し上げます。

【日本ゼオン株式会社 コメント】

ミドリムシを生きたまま粒子に閉じ込めるという発想と、実際にそれにチャレンジして達成できた点が素晴らしいと感じました。また、実験の過程で現れる粒子の変化を非常に良く観察できており、楽しみながら主体的に研究に取り組んだことが良く伝わる内容でした。化学実験では、実際に実物に触れた人だけが知り得る「手触り感」が大きなブレイクスルーにつながるものが良くあります。これからも自信をもって「手触り感」ある研究を貫いて挑戦を続けてください。

日本ゼオン・チャレンジ賞審査委員長 坂本 圭(当社創発推進センター)

以上

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 コーポレートサステナビリティ統括部門 広報室 電話:03-3216-2747